

平成24年12月27日

春日井市長 伊藤 太 様

春日井市国民健康保険運営協議会
会 長 青 山 倫 子

国民健康保険税の税率の改定について（答申）

本市の国民健康保険事業の運営は、高齢化による医療費の増加や、長引く景気低迷に伴う税収の減少から、年々厳しさを増しており、財政基盤は不安定とならざるを得ない。

こうした背景から平成24年11月19日付けで当協議会に対して諮問のあった国民健康保険税率の改定についてであるが、被保険者への一層の保険税負担を強いることはできる限り回避すべきと認識しつつも、本事業の安定と健全な財政運営に繋がるものと考え、慎重に審議した結果、次のとおり答申する。

(答申内容)

国民健康保険税の税率の改定については、諮問のとおりとすることが適当と認める。

(附帯事項)

今後は次の事項について留意し運営に当たっていただくよう申し添える。

1 国民健康保険税の収納率向上について

国民健康保険税の適正な収納は重要なことであり、国民健康保険事業の健全な運営を図るためにも収納率向上に一層努められたい。

2 医療費の適正化について

歳出抑制のため、医療費の適正化について新たな取り組みを検討するなど一層の適正管理に努められたい。

3 財源の確保について

国・県支出金の拡充を関係機関に強く要望すると共に、さらなる繰入金増額等、財源の確保に努められたい。